

話題がいっぱい /  
なかゆくい

市内各地で行われたイベントや、  
まちの話題をお届けします。  
ここで“なかゆくい”しませんか。  
(なかゆくい=ひと休み)



市ホームページ「うらそえトピックス」  
にも市内のできごとを紹介しています。



### 7/11 高校生が伝える福祉の在り方

陽明高校3年生、浦添市民児協、市社協、地域包括支援センターがタッグを組み、仲西小学校3年生へ「フクシ出前授業」を行いました。高校生が民生委員についての動画や説明、クイズ、民生委員の相談窓口の電話番号を「098(877)8278」の語呂合わせとジェスチャーをつけて子どもたちに教えるなどユニークな授業を行ったあと、民生委員と一緒に地域について学ぶグループ学習も行われました。授業を受けた武野夏妃さんは「クイズや電話番号を覚えるのがとても楽しかった」と話し、陽明高校の大城翔夢さんは「最初は不安だったが、いざ授業をしてみると逆に元気をもらえてとても楽しかった。他の小学校でもやってみたい」と授業の成功を喜びました。



### 市制施行55周年式典を彩る書道の輝き

去る7月1日、市制施行55周年記念式典が開催され、さまざまな分野で浦添市の発展にご貢献いただいた80名の皆さまが表彰されました。今回、その大切な賞状の筆を執られたのが、浦添高校書道部の太田莉央奈さん(3年)、玉城風月さん(3年)、伊佐瑞穂さん(2年)、そしてご指導にあられた東徳嶺先生です。

学業と部活動を両立しながら、市民の皆さまの晴れの舞台を飾るため、何度も練習を重ね、一文字一文字に心をこめて書き上げてくださり、格調高い賞状が完成しました。

式典を彩る素晴らしい書は、受賞される皆さまの喜びを一層深め、忘れられない記念となるでしょう。



### 7/2 “社会を明るくする運動”メッセージ伝達式

第75回目となる「社会を明るくする運動」のメッセージ伝達式が行われ、毎年7月の運動強調月間に向けて、石破茂内閣総理大臣、玉城デニー沖縄県知事、半嶺満沖縄県教育長から市長、市議会議長、市教育長にメッセージが伝達されました。

当運動は『犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ』をコンセプトに、更生保護について理解を深め、安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動です。中部南保護区保護司会浦添支部の真栄城支部長は「浦添市においても、市と保護司が連携協力し、犯罪のない明るい社会へ推進していきます」と話し、運動の促進を呼びかけました。



### 7/8 食べて! 踊って! はじめての国際理解!

国際協力機構沖縄センター(JICA沖縄)監修のもと、市内の子どもたちに食を通して国際理解を深めてもらうイベントが大平保育所で行われました。

JICA研修員(コートジボワール保険省所属の行政官)10人が大平保育所を訪れ、くま組・ほし組の35人の子どもたちとフランス語で挨拶をしたり、コートジボワールに関する紹介をしたり、一緒に伝統のダンスを踊ったりして交流を深めました。また、給食ではトルコ家庭料理「オルマンケパブ」(肉じゃがのような料理)が振る舞われ、子どもたちは美味しさのあまりおかわりをするなどトルコ料理を楽しく味わっていました。



### 7/1 バトン繋いで55年 これからも全力浦添

7月1日に、友好都市の中国・泉州市、愛知県・蒲郡市の代表者をはじめ、約750人を超える参加者が見守る中、浦添市市制施行55周年の記念式典がたこホールで行われました。浦添市少年少女合唱団による市歌斉唱や市内専門学生が制作した55周年の記念ケーキも登場し、会場は大いに盛り上がりました。

式典では「功労表彰」「善行表彰」の表彰が行われ、個人68人と12団体に表彰状が贈られました。

受賞者代表あいさつで、善行表彰の「産業部門」で受賞した波平正さんが「地域の皆さまと目の前の課題に向き合いながら積み上げてきた一つ一つの歩みを評価いただけた」と感謝の意を述べました。



### 6/20 平和への想い“スクブンコンサート”

戦後80年の節目の年を迎える今年、慰霊の日に先立ち、6月20日に市役所中庭で『平和ぬ音スクブンコンサート』が開催されました。

沖縄ハンズオンNPO共催のもと、市内児童センターの子どもたちが、手話を交えて歌う「月桃」や、しまくとぅばで歌う「上を向いて歩こう」などを披露し、平和への想いを発信しました。松本市長は「戦争で亡くなられた多くの方へ哀悼の誠を捧げるとともに、命を繋がれた私たち自身も、うちなーんちゅこそが、想い・経験を世界中に伝えていかなければならないと感じる」と話し、来場者らは「心の通う場となった」「感動した、涙そうそうした」「子どもからお年寄りまでが協力して、見事だった」と話していました。



### 6/16 「うらみーぐる応援隊」活動中!

市内の高齢者が安心して地域活動に参加し続けられるよう、移動支援に取り組む協議体「うらみーぐる応援隊」が令和6年に発足し、現在活動中です。

この協議体は、「地域でできることから始めよう」と大学准教授や市内の老人クラブ連合会、企業、NPO、医師会、地域包括支援センター、社会福祉協議会などの代表者が委員として集まり、話し合いを進めています。

去る6月16日には沖縄トヨタ自動車の協力のもと、自治会や児童センター活動でのシェアカー活用について検討されました。今後は運転ボランティアの養成について話し合いを行っていきます。